

編集後記

本特集のテーマは、EUS-BD（超音波内視鏡下胆道ドレナージ）である。2001年にGiovanniniらによりEUS-BDが初めて報告されてから、すでに20年以上が経過した。筆者が初めてEUS-BDを施行したのは2007年である。患者さんは膵癌による十二指腸浸潤のため経乳頭のカニュレーションが困難であった。腹水もありPTBDが困難な状態であったため、十分なインフォームドコンセントのあとにEUS-CDSを施行した。スコープはGF-UCT240-AL5（観測装置はALOKA-Prosound α5）、穿刺針は19GのEchotip needleを使用した。通電ダイレタも、専用拡張ダイレタもない時代であり、胆管造影後に0.035 inch ガイドワイヤーを留置して穿刺針を抜去、先端テーパ型^{*}のERCP用カニュレ（Cook社製GT-1-T）で何回か穿刺部を突いてようやく貫通させ、続いてSoehendra胆管拡張用カテーテルで穿刺部を拡張後、7Fr、5cmのストレート型プラスチックステントを留置した。初めて行う手技であり、どのステップがうまくいかなくても重大な偶発症が待ち受けている状況のなか、トラブル発生時にそなえて外科にバックアップを要請したうえで、緊張しながら行ったことをよく覚えている。

その後、主に日本を中心として多くの専用デバイスが開発改良され、より安全・確実に手技を行うためのテクニックが発表されてきた。今日ではほぼ確立した手技となっており、その発展、普及には目を見張るものがある。本特集は、世界的にこの分野を牽引してきた糸井隆夫先生の序説と安田一朗先生の総論にはじまり、この分野で日本を代表する先生方に各種EUS-BD手技について、それぞれの手技とコツ、トラブルシューティングについて動画付きでわかりやすく解説していただいている。これからEUS-BDをはじめる初学者の先生方は是非とも本特集を熟読したうえで、熟練医のバックアップのもと手技を行うことをお勧めしたい。また、中級医以上の先生方にもエキスパートの先生方がどのようなデバイスやテクニックを使っているのか、どのようにトラブルシューティングしているのかをup dateしていただきたい。本特集がEUS-BDを行うすべての内視鏡医のお役に立てることを確信している。

（埼玉医科大学国際医療センター消化器内科
良沢昭銘）

「消化器内視鏡」編集委員会

ENDOSCOPIA DIGESTIVA Editorial Board

主 幹

貝 瀬 満 赤 松 泰 次 有馬美和子 檜 田 博 史
岩 男 泰

委 員

阿 部 展 次 石 田 和 之 糸 井 隆 夫 今 枝 博 之
河 合 隆 河 内 洋 栗 林 志 行 後 藤 田 卓 志
小 林 清 典 斎 藤 豊 佐 藤 公 下 田 将 之
根 本 哲 生 藤 島 史 喜 布 袋 屋 修 松 田 浩 二
三 澤 将 史 安 田 一 朗 矢 作 直 久 山 本 博 徳
良 沢 昭 銘

名誉主幹

酒 井 義 浩 田 中 三 千 雄 幕 内 博 康 熊 井 浩 一 郎
榊 信 廣^{*} 星 原 芳 雄^{*} 杉 山 政 則^{*}

名誉委員

荒 川 哲 男 池 上 雅 博 池 田 昌 弘 乾 和 郎
大 倉 康 男 大 竹 寛 雄 沖 田 極 小 原 勝 敏^{*}
勝 又 伴 栄 加 藤 洋 桑 原 紀 之 桑 山 肇
佐 竹 儀 治 嶋 尾 仁 竹 下 公 矢 田 中 雅 夫
長 野 正 裕 長 谷 部 修 原 澤 茂 原 田 一 道
平 田 信 人 藤 井 隆 広 藤 田 直 孝^{*} 藤 盛 孝 博
安 田 健 治 朗^{*} 矢 野 右 人

^{*}：シニアアドバイザー

消化器内視鏡 第37巻 第2号(通巻第438号)

2025年2月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 3,520 円(本体 3,200 円 + 税 10%)

2025年(1～12月号、増刊号)年間予約購読料

定価 54,120 円^{*}(本体 49,200 円^{*} + 税)

(^{*}送料は弊社負担です。ただし、前金予約購読者に限ります)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

編集———消化器内視鏡編集委員会
発行———株式会社 東京医科学社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail : naishikyo@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社東京医科学社が保有します。

・[JCOPY] <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般出版社団法人著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

Published by TOKYO IGAKUSHA Ltd. Printed in Japan ©2025

広告申込所: 株文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 TEL03-3814-8541